

令和4年度第2回小金井市長期計画審議会

日 時 令和5年3月23日(木) 午後2時00分～午後3時25分

場 所 市民会館・萌え木ホール A会議室

出席委員 12人

会 長 渡 邊 嘉二郎 委員

職務代理者 萬 羽 郁 子 委員

委 員 高 松 央 介 委員 井 寺 喜 香 委員

天 野 佳 奈 委員 檜 山 渚 委員

木 場 征 夫 委員 小早川 良 信 委員

鈴 木 琢 真 委員 須 藤 吉 章 委員

福 平 恵 一 委員 浅 野 智 彦 委員

欠席委員 3人

田 中 千鶴枝 委員 田 端 佑 也 委員

林 博 志 委員

事務局 企画政策課長 富田 絵実

企画政策課主任 前坂 悟史

傍聴者 0人

(午後2時00分開会)

◎渡邊会長 定刻の時間になりましたので、始めさせていただきますと思います。

本日は、田端委員、田中委員、林委員から欠席という届出があります。井寺委員がちょっと遅れているみたいですが、現在、11名の参加者で、小金井市の委員会規程で半分以上であればこの会は成立するということですので、現在11名、15名中11名ということですから、この会は成立しているということを申し上げたいと思います。

では初めに、事務局から資料の説明をお願いいたします。

◎富田企画政策課長 それでは、資料の確認をいたします。まずは次第がございます。それから資料1「令和4年度施策評価について(答申)案」、こちらがA4ホチキス留めの資料となっております。次に、参考資料「令和4年度施策評価(質問・その他参考意見)」、こちらもA4ホチキス留めの資料でございます。

本日の配付資料は以上となりますが、前回の会議で配付をさせていただきました「第5次小金井市基本構想・前期基本計画」の冊子、また、「令和4年度行政評価結果」、A4ホチキス留めの資料、こちらも御参考にしていただければと思います。

不足がございましたら、お声がけいただけますでしょうか。また、お忘れの資料などありま

したらお声がけいただければ。大丈夫そうですか。恐れ入ります。よろしいでしょうか。

では、渡邊会長、お願いいたします。

◎**渡邊会長** それでは、本日の議題、2つしかないのですが、令和4年度の施策の評価についてということで、お願いしたいと思います。

皆さんのお手元に今、資料1と参考資料があると思うのですが、皆さんの御意見を伺って、資料1のところかというと、箱の中に入った部分と、その下に書いている「意見」という。後から説明があると思うのですけれども、皆さんの意見がいろいろ入ったよというのがありまして、市として、この箱の中の部分は、評価に関わることについてまとめていただいたと思っております。それから、意見というのは、今後、個別具体的なところで取り組むべき意見としてまとめて、別紙の参考意見のところは、質問とか、何か情報不足で皆さんのところでよく分からないというようなことのコメントということですよ。

ただ、事務局としても非常に苦労したと思うのですが、皆さんの意見をこの3つの中にどう入れるかということで。私としては、全部すごく重要な意見だと思っております。ただ、整理上そういうふうになっているという前提で進めさせていただくということになっております。皆さんから非常に貴重な意見を伺ったと思いますので、私のほうからも感謝を申し上げたいと思います。

それでは、事務局のほうで御説明をお願いします。

◎**富田企画政策課長** それでは、資料1の「令和4年度施策評価について（答申）案」を御覧ください。こちらは、施策評価の対象である29の施策について、前回の会議の後、委員の皆様から御意見をいただき、答申の案としてまとめたものでございます。

委員の皆様からは大変多くの御意見をいただきました。お忙しい中、御協力をいただき、誠にありがとうございました。

資料の内容につきまして説明をさせていただきます。今、渡邊会長からもお話しいたきましたとおり、29の施策それぞれを「長期計画審議会コメント」及び「意見」という2つの形で、まずは整理をさせていただきました。

「長期計画審議会コメント」につきましては、施策全体の評価に関するコメントを掲載しています。

また、「意見」の欄につきましては、施策に対する御意見や個別事業に対する御意見に関するコメントを掲載させていただきました。

また、別に配付しています、参考資料として「令和4年度施策評価（質問・その他参考意見）」と書かれた資料を御覧ください。こちらにつきましては、施策に対する御質問など、事前に差し上げた情報が少なかったことから、行政からの説明が必要と思われる御意見などについて、主にまとめさせていただいたものでございます。

こちらの御意見につきましては、今年度については今回が最後の会議となってしまうことから、大変恐縮ではございますが、来年度の施策評価に向けた課題として、御意見などとして担

当課に伝えさせていただくことも含め、今後担当課と調整をさせていただければと考えてございます。

それでは、本日御協議いただく内容を説明させていただきます。資料1の1ページを御覧ください。本日は、施策1から施策29までの長期計画審議会コメント及び意見について御確認をいただきたいと思っております。

特に、黒枠の長期計画審議会コメントの欄につきまして、修正などがあれば、それを反映したものをまとめさせていただき、最終的な長期計画審議会としての答申としていただきたいと考えてございます。

なお、施策の数も多く、時間の関係もございますので、本日御質問をいただいたものについて、この場での御回答が難しい、または、詳細な御説明を差し上げないとなかなか結論にたどり着かないようなものにつきましては、先ほどの参考資料のほうに追加をさせていただくということで、来年度への持ち越しとさせていただきたいと考えておりますので、恐れ入りますが、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、皆様からコメントをいただきました中で、「アンケートの指標の設問や目的値が適切でないのではないか」という旨の御意見も幾つかいただきました。その点につきまして、事前に御説明を十分にさせていただかなかった点での御意見だということもございますので、ここの場にて補足をさせていただきたいと思っております。

目標のアンケートにつきましては、毎年4月に無作為に抽出をいたしました18歳以上の市民の方、2,000人を対象にアンケートを送付させていただき、その結果を集計したものとなっております。例えば施策に応じて、子ども施策に関する質問項目に対して、お子様のいらっしゃる御家庭からも御回答をいただいたりとか、そういったことも含めての無作為抽出のアンケートとなっているものでございます。

令和元年度に行ったアンケートの結果を「現状値」としまして、前期基本計画の期間である令和7年度を「目標値」に設定しております。目標値については、基本的に10年間の基本構想の前半である令和7年度までに目指すものとして設定しておりますが、子どもの施策など一部指標について、その分野の性質上、最終的な目標として設定している指標もございます。

また、設問については、第5次基本構想・前期基本計画策定の際に、長期計画審議会の委員の皆様の御意見を伺いながら、担当部局等と調整をし、設定したものとなっておりますので、大変恐縮でございますが、今回のこの段階でこちらを現年度で変更していくということにはならないという事情もございます。

策定をした当時にも様々な御意見があり、特に子どもや高齢者の特定の分野などに関する指標についても、18歳以上の方の条件でアンケートを送付しているとか、御高齢の方がいらっしゃる御家庭で判断ができないという部分も、すごくたくさん懸念がありましたが、そのような経過も踏まえつつ、前期基本計画の指標の中では、小金井市全体がその施策に対する「目指す姿」というものを、どれだけ近づいているかを測る物差しとして、無作為抽出した2,000

0人の方を対象にアンケートを取ることを前提として、それぞれの設問を設定したものになっています。

細かい事業などに関する指標につきましては、それぞれ個別計画のほうで、対象の方を設定してアンケートを行っているものなどもございますので、次年度、必要に応じて情報提供させていただくなどして、ここは議論を深めていくことができる部分もあるかと考えております。

続きまして、御協議いただく前に、来年度の施策評価の方法について、現時点で検討している内容についてお伝えさせていただきたいと思っております。

今回、皆様に評価を行っていただいた中で、御意見や御質問をいただき、やはり施策の分野が29施策となりますと非常に多岐にわたっています。評価に当たっての情報が少ないことが課題になっているところを、改めて事務局としても感じさせていただいたところがございます。行き届かない部分がありまして、大変申し訳ございませんでした。おわび申し上げます。

そこで、来年度につきましては、委員の皆様には幾つかのグループに分かれていただき、分野ごとの施策について評価を行っていただくことも考えております。また、可能であれば、必要に応じて、そのグループの中での御意見の交換の場に担当課の職員も参加させていただくなどし、皆様と意見交換をする場も含めて検討していきたいと考えております。そちらは日程の調整の都合などもありますので、全分野についてかなえられるかはなかなか難しいところもあるかと思いますが、可能な限りそのような形で調整をしていくことを考えておりますので、御協力をいただけましたらと思っております。

繰り返しになりますが、本日は令和4年度の施策評価をまとめていただく必要がありますので、29の施策全てを御確認いただきますが、評価をしてみた感想などでも構いませんので、御意見などもいただければと思っております。

本日、先ほど申し上げましたとおり、黒枠の部分の文言については固めてまいりたいと思っております。いただきました御意見を基に、最終的には会長、職務代理者、事務局で文言の細かな調整を行った上で、御一任をいただくということで、決定をさせていただきたいと考えてございます。

説明は以上でございます。

◎**渡邊会長** 説明ありがとうございました。アンケートのやり方とか、来年度のこともありましたけれども、今日の主要課題は、資料1の黒枠の部分の文言を固めたいということで、29個もありますので、1個当たりに数分かけても大変な時間になるので、進行のほうは、ぜひ皆さんの御協力をいただきながらと思っております。

進め方ですけども、僕はあまり声が出ないので、職務代理者の美しい声で朗読してもらって、それから御意見をいただくということにしたいと思っております。

◎**萬羽会長職務代理者** 施策1から、それでは行かせていただきます。施策1「みどりと水の環境整備」として、長期計画審議会コメントとして、読み上げます。

小金井市が誇る「みどりと水」の保全にとどまらず、その魅力がより多くの人に伝わり、小

金井市に住みたいと思わせるような仕掛けや、その資源を活用して「稼ぐこと」に期待したい。

環境美化サポーター制度などの市民協働の推進を図っていることを評価する。

市立公園に指定管理者制度を導入することで、市民サービス及び公園環境の質の向上が図られるよう、関係者と意見交換を行いながら、満足度のさらなる向上を目指し、取組を進めていきたい、としています。

意見の読み上げは省略させていただきますので、御覧いただければと思います。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。施策の1「みどりと水の環境整備」について、内容的なことを、表現法はまとめていただいて、内容でこういうことを付け加えるべきだということ、御意見があれば伺いたいのですが、いかがでしょうか。どなたかございませんか。

よろしいですか。後で総括的に皆さんにまた御意見を伺いたいと思いますので、もしこれでいいということであれば、これは終わりにしたいと。よろしいですね。

ありがとうございます。

◎**須藤委員** ちょっと1つよろしいですか。

◎**渡邊会長** どうぞ。

◎**須藤委員** これだけじゃないのですが、この意見の部分というのは、そこに反映されないものとして考えていいのでしょうか。

◎**富田企画政策課長** はい。こちらの答申案についてという冊子に書いてあるコメント欄の下にある意見については、公表の対象とします。

さらに別の参考資料と書いてあるほうについては、今回は差し控えさせていただきたいと考えています。

◎**渡邊会長** 須藤委員、よろしいですか。

◎**須藤委員** はい、大丈夫です。

◎**渡邊会長** ただし、こちらの参考資料も非常に重要な意見だと思うので、来年度以降、ぜひ反映していただきたいと、私からも事務局にお願いしたところです。

それでは、施策の2で「循環型社会の形成」ということで、御朗読をお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントを読み上げます。

市民の生活様式の変化でごみが一時的に増えたことは仕方ないことだが、その環境下でも削減するには新たな対策が必要になると考えられる。

3Rに取り組む市民の割合は増加しているので、効果的な啓発活動を展開できるよう、様々なツールの活用も検討していただきたい、となっています。

◎**渡邊会長** この件はいかがでしょう。何か補足的に、こういうことをもう少し強調すべきだとかいうことがあればお願いいたします。

よろしいですか。何かないのも寂しい。意見書でいろいろ出ていたところですね。それはそれとして生かしていくということで。

よろしゅうございますか。

では、施策の3をお願いいたします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントを読み上げます。

小金井市気候非常事態宣言を発出したことをはじめ、省エネに関する取組を推進したことで、市民の意識啓発を図れ、省エネルギーに取り組む市民の割合は比較的高く、評価できる。

地球温暖化対策の推進について、「意識」から「行動」につなげる具体的取組が今後の課題と考えられる。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。この件についてはいかがでしょう。結構包括的に書かれているから、問題はないかと思うのですが、個別具体的なものは、この意見書をこちらの参考資料に今後生かしていく。

福平さん、何かないですか。

◎**福平委員** いえ、別に。

◎**渡邊会長** よろしいですか。

◎**福平委員** はい。

◎**渡邊会長** では、行きましょう。

次に施策4、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** 「市街地の整備」についてのコメントです。

駅周辺整備が着実に進んだことは評価できる。小金井らしい魅力的な市街地が整備されていると感じる市民の割合が5割に満たないため、市民の声を取り入れながら、まちの魅力を発信する取組にも力を入れていただきたい。

武蔵小金井駅北口や東小金井駅北口の区画整理事業については、丁寧な説明と情報発信に努めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。よろしゅうございますか。

では、施策の5をお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** 「住環境の整備」についてのコメントです。

各事業が進捗したことで、アンケート結果が目標に近づいたことは評価できる。多岐にわたる助成事業の達成率も高くこれらも評価できる。さらに市民へ周知する取組の強化、課題解決に向けた対策に努めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** 環境整備についてのコメントとして、いかがでしょうか。

よろしいですか。

次は、「都市インフラの整備」です。

◎**萬羽会長職務代理者** 施策6についてのコメントです。

インフラ整備事業や通常のメンテナンス作業等、災害に強い都市基盤を整備し、適切に維持

管理していくことが重要である。

長期的・日常的に取り組む課題であるが、そのために必要な各種調整を丁寧に行っていただきたい。課題は多いと思われるが、計画に基づいた進捗管理に努めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。ここのところは意見なしですけれども、こっちの参考資料のほうには2件ほど御意見があります。皆さんに分かるように説明したりとか、反映していただければと思います。

では、7をよろしくお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** 「交通環境の整備」についてのコメントです。

市内を安全に移動できると感じる市民の割合が増えていても、交通事故死傷者数の推移等、常に問題意識を持ちつつ様々な角度から対策を検討していただきたい。

ココバス再編事業の推進により、市内の交通環境が改善されることに期待する。放置自転車対策や交通安全事業については、利用者等の声を聞きながら、より効果的な対策を検討するとともに、定期的な啓発活動に努め、市内の交通手段における利便性への満足度を上げてほしい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょう。

それでは、8番目をお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** 「危機管理体制の構築」についてのコメントです。

コロナ禍の影響ではあるが、防災訓練に参加したことがある市民の割合が減少してしまったことは、今後の大きな課題である。

感染症が蔓延しているときでも災害は起きる可能性があり、このような事態における有効な対策を講じながら訓練が再開できるよう、引き続き体制の強化を図っていただきたい。

まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合と実情は乖離があるかもしれない。広報し実情を正確に知ってもらい、備えの効果的な活用に使ってほしい。

以上です。

◎**渡邊会長** 「危機管理体制の構築」に対するコメントです。いいですか。

それでは、「地域の安全・安心の向上」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

自動通話録音機の貸出し等、一定の成果が上がっていることは評価できる。

振り込め詐欺等の犯罪が未然に防げるよう、警察署等関係機関とも連携し、取組が広く認知されるよう、広報にも力を入れていただきたい。空き家対策も重要な課題であり、効果的取組に期待する。

以上です。

◎**渡邊会長** 「地域の安全・安心の向上」、評価コメントということですか。よろしいですか。

◎**浅野委員** 後で申し上げてもいいのですが、施策9に関しては、別冊の参考資料のほうの(1)

番で、小金井警察署のホームページでの犯罪件数が2021年と比べて2022年のほうが増加していると指摘されているのです。これは結構重要な指摘ではないかなと思います。つまり、令和3年度の実績ですが、コロナ禍のおかげで外出する人が減ったので、犯罪が抑止されていただけであって、その要因が緩和されると、やはり犯罪件数は増えてしまうのだとすると、十分な注意が必要になるというような気がいたします。

もちろん、令和3年度実績を評価するということが主目的ですから、やや難しいところもあるんですが、この数字が既に分かっている段階で令和3年度の実績を見ると、また違った見え方がしてくるということもまた事実のため、確認が必要かなと思いました。記述をどこか変えてくださいという意味ではありません。ただ、これ、御指摘いただいたのはとても大切なことだなと私は思いましたので、一言申し上げました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

◎富田企画政策課長 浅野先生に発言していただいたとおり、2021年度の評価ではありながら、既に見えている数値ですので、参考としていくべきというところはおっしゃるとおりかと思えます。担当課に伝えていくなど、今後に生かしていきたいと考えています。

ありがとうございます。

◎浅野委員 私というよりは、これを書いてくださった方に。

◎富田企画政策課長 そうですね。

◎浅野委員 ありがたい御指摘だなと思われましたので。

◎渡邊会長 ほかにございますか。浅野先生、ありがとうございます。

それでは、10番の「産業・観光の振興」について、お願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

コロナ禍においては、イベント等の実施が制限される中、様々な創意工夫により事業を実施したことで、まちに活気があると感じる市民の割合が増えたことは評価できる。

今後は、コロナ禍での経験を生かし、さらなるまちのにぎわいを創出していただきたい。

小金井にはすばらしい観光資源が顕在化しないまま埋まっているように思える。これらを掘り起こし、小金井の観光における産業振興をリードする仕組みを考えていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。私が言った意見も入っていてうれしいです。

◎須藤委員 意見の部分ですが、心配なのは、リモートワークをやったことがないのですが、それで時間が増えるからもっとやりましょうという意見があります。育休・産休でスキルアップを批判されるような時代なので、そこら辺の配慮は必要ないのかという提言でございます。

◎渡邊会長 それは意見のところを何か付け加えればいいという感じですか。

◎須藤委員 そういう配慮をするべきなのかどうなのかを御検討いただければと思います。

◎渡邊会長 分かりました。

◎須藤委員 ちょっと性質が違うとは思うのですけど。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。ご発言のとおり、リモートワークになり、お時間ができた方もいれば、そうでない方も当然いらっしゃると思います。また違った面でいろいろな配慮が必要な部分というの、あり得ることかとは思っています。

通勤時間がなくなったということにより、地域で過ごす時間が増えて、地域に目を向ける機会ができた方がいるのではないかという期待も含めての御意見であるというふうに酌み取らせていただいて、今回こちらの意見の欄に入れさせていただいています。

このまま残すのか、何らかの配慮が必要であるということであれば、参考資料のほうに移すのが適切なのか、担当課とも相談をしつつ、検討してみたいと思います。

御意見ありがとうございます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

なければ、11の「都市農業の振興」、お願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

将来的には人口減少が予想される中、農業者の減少はより深刻になっていくと考えられるため、新規就農者のさらなる確保に向けた取組に努めていただきたい。

コロナを機とした生活スタイルの変化（在宅勤務やネット購入）が、市産農産物の購入率の低下の要因の1つとして考えられ、生活スタイルの変化に応じた対策も必要と考えられる。

イベントを通じた販売やPRに限らず、ICTなどを活用した現在の生活スタイルに見合った方法も検討いただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょう。皆さんの思いがこの言葉に反映されているかどうか。よろしいですか。

それでは、施策の12番「子どもの育ちの支援」に参りましょう。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

コロナ禍の影響により、人と人が触れ合う機会が減少している中、子どもの居場所づくりや豊かな体験ができる機会の提供は、様々な工夫をしながら継続して取り組むことが求められている。子どもオンブズパーソンの設置等、新たな事業の周知にも努めていただきたい。

市民が、子どもが育ちやすい環境だと思うかどうかは、交通環境や環境、教育など総合的な観点で導き出されると感じる。関連課と共同した取組がより増えることを期待する。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。よろしゅうございますか。後でまた振り返りたいと思いますので。天野さん、何かありますか。

◎天野委員 最後に質問があれば聞きたいと思います。

◎渡邊会長 分かりました。

それでは、施策の13「子育て家庭の支援」ということで、お願いいたします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

指標のアンケート結果については、全体的にまだまだ低いものの、当初から増加していることは評価できる。

子育て家庭を支える様々な支援策を分かりやすい方法で周知徹底するとともに、コロナ禍や物価上昇の影響による保護者の経済的負担を軽減する等、多様化する保育ニーズを的確に捉えていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。

浅野先生、お願いします。

◎**浅野委員** この評価に、まず賛成です。特に異論はありません。

その上で、技術的な部分についての質問ですが、指標の基になるアンケートはお子さんがいるかというのは聞いていないのでしょうか。長期総合計画策定時の市民意向調査では、小学生の子どもがいるか、中学生の子どもがいるかということ聞いています。報告書でも、小中学生の子どもがいる方の場合の数字は示されていたと思います。

このトピックに関しては、やはり現在進行形でやられている方と、そうではない方とで意味合いが少し違ってくると思います。両方の数字に注目したほうがいいかなと思うのが1点。

それから、市民意向調査の数字を見ますと、学校についても、子育て支援についても、基本的には今、実際に小さい子どもがいる家庭の回答者というのは肯定的な回答になります。どちらを見るかによって評価が随分違ってくる可能性が出てくるなと思いました。

もう1回質問に戻るのですが、子どもがいるかはこのアンケートで聞いていますか。

◎**前坂企画政策課主任** アンケートについての御質問をいただきました。アンケートですが、先ほど説明したように、毎年4月に「市長への手紙」という形で、無作為抽出の18歳以上の方、2,000人に送ります。その中の項目には、子どもがいるかどうかの質問があったかと、私の記憶ではあるのです。

ただし、市民意向調査は、長期総合計画策定の最初の調査だったので、市でも調査を委託し、細かいクロス集計とか、現状値を見るために細かい分析をしていただいたという経過がございます。

現状としては、市でアンケートを回収した後に、子育て世帯の部分の数字が出せるかどうかというのは、すぐに回答が難しいです。やろうと思えば、出せるかもしれないというところがあります。持ち帰らせていただいて、今後の課題にさせていただければと思います。

◎**浅野委員** どういう形でデータを保有されていますか。

◎**前坂企画政策課主任** CSVです。

◎**浅野委員** 簡単に分析できるのではないかなと。

◎**前坂企画政策課主任** そうですね。たしかその項目があったかとは思いますが、そこも確認させていただきます。

◎**浅野委員** 以上です。

◎渡邊会長 この箱の中のところは異論がないということなので。

◎浅野委員 はい。

◎渡邊会長 いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、14「子育て・子育て環境の充実」ということで、お願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

コロナ禍の影響により、イベント等が中止になることもあるが、これまでに構築されてきた地域のつながりが弱まることのないよう、関係団体等との連携強化については、引き続き努めていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。この件はいかがでしょう。

次の15番目の「学校教育の充実」ということでお願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

コロナ禍で多くの制約がある中、目標に向けた取組を継続し、このような条件下でも成果が上がっていることを高く評価したい。

社会情勢の変化は、学校生活の現場にも影響を与えるため、コミュニティ・スクール制度や新たな仕組みも構築しながら、あらゆる状況に対応できる体制を整えていただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 評価と要望が書かれていますけれども、いかがでしょうか。

◎榎山委員 小金井の小学校、中学校でどんどんコミュニティ・スクールに変化し、来年度で全部コミュニティ・スクールになる形と聞いています。実際に小学生を持つ親の話では、コミュニティ・スクールとは結局何がどうなるのだろうねというところで止まってしまっている感じ。私も勉強不足で申し訳ないのですが、実際にどのようになっていくのだろうというのがあり、「新たな仕組みも構築しながら」の部分は、個人的にはすごく小金井市に期待しているところであるのですが、それと同時に、この学校教育の現場にもっと社会全体として関わっていくということになると、例えばセキュリティーの問題として、学校現場に知らない人が急に来ると、保護者としては大丈夫なのかと。不安もありそうな感じだなと思っています。それをこのコメントに何か反映するかと言われると、どうというわけではないのですけれども。

新しいことをしていただきたいというのもあるけれども、ちょっと慎重に、特殊な教育現場というところでもあるので、慎重に進めていくという部分もある。

◎渡邊会長 この新しい仕組みの構築というところで、いろいろ慎重に配慮しながら、新たな取組を構築していくと、そういう感じですか。

◎榎山委員 はい。そのような感じのニュアンスだと個人的には思います。

◎渡邊会長 いかがですか。何かコメントがあれば。

◎榎山委員 具体的な提案ができなくてごめんなさい。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。コミュニティ・スクール制度は、担当から聞く

には、周知の面で課題があつてというところと、学校と地域とをつないでいくというところで、必ずしもスムーズにしているものばかりではないと聞いています。

保護者の方からは、セキュリティー面の課題というところをどうクリアしていくのかというところも御心配の御意見があると聞いてはいます。

その御意見について、コミュニティ・スクールとしての推進等、セキュリティー面や様々な課題について丁寧に進めていってほしいというところの御趣旨について、御意見の部分に載せるのか、その他の参考意見のところに盛り込ませていただいて担当課にフィードバックをするのかというところは、会長と後ほど調整をさせていただくようなことで反映させていただいてよろしいですか。

◎**樫山委員** いいです。ありがとうございます。

◎**富田企画政策課長** ありがとうございます。

◎**渡邊会長** よろしいですか。

◎**樫山委員** はい。ありがとうございます。

◎**渡邊会長** ほかにございますか。

貴重な御意見ありがとうございました。

それでは、16番「学校環境の整備」に参りたいと思います。お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

トイレ洋式化率の向上やエアコン設置等、学校環境の整備に一定の成果が上がっていることは評価できる。

計画に基づいた施設の老朽化対策を進めるとともに、ICT機器の使用を促進していただきたい。

今後の児童生徒数の増加に伴う対策について、適切な対応を図っていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** この件はいかがでしょう。

それでは「芸術文化の振興」に移りたいと思います。お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

アンケート結果が当初よりも減少していることは課題であるが、感染対策を講じながら実施できた事業が増えたことは、今後の取組にもつなげていただきたい。

芸術文化振興計画推進委員会に御意見等もいただきながら、施策の推進に努めていただきたい。

小金井の持つ芸術文化に関わる資源をより魅力的に広報していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** 「芸術文化の振興」はいかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、18番目「国際交流・都市間交流の推進」をお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

コロナ禍でオンラインという新たな取組ができたことで、今後コロナ禍ではなくなっても、より多様な交流の機会が設けられるよう期待する。

交流の輪を広げる取組が止まらないよう、関係団体等との連携にも努めていただきたい。
以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。コロナ禍で得たやり方を今後も継続したらどうかということかと思えます。いかがでしょう。よろしいですか。

それでは、19番目の「人権・平和・男女共同参画の尊重」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

感染症対策として規模を縮小し、コロナ禍でも事業を再開したことで、一定の成果が上がっていることは評価できる。

継続した意識啓発が必要であるため、啓発活動の維持・強化に努めていただきたい。
以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょう。よろしゅうございますか。

それでは、20番「生涯学習の振興」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

コロナ禍においても生涯学習の振興に向けた一定の取組が実施できたことは、今後の事業にもつなげていただきたい。指標の目標には達成していないため、計画に基づいた事業の推進に努めていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** 生涯学習の件、いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、次に参ります。「スポーツの振興」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

東京2020大会を契機に、スポーツに対する関心が高まったと考えられるが、市民の継続的なスポーツの実施につなげていただきたい。

施設の大規模改修工事の影響ではあるが、利用者数が大きく減っているため、利用者を増やす取組を積極的に進めていただきたい。

スポーツ推進審議会の設置及び開催を評価する。今後、市民の声を反映した取組の実施を期待する。

以上です。

◎**渡邊会長** スポーツ振興、このようなコメントをしたいということですか。よろしゅうございますか。

それでは、「福祉のまちづくりの推進」、22番目をお願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

福祉総合相談窓口の整備をはじめ、地域福祉計画はおおむね順調に進んでいると評価できる。

困ったときに地域で助け合える関係性を持っている市民の割合は、目標の半分程度で当初か

ら減少しており、課題のある事業については、効果的・効率的な実施方法や周知方法を検討していただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** よくまとまっています。いかがでしょう。よろしゅうございますか。

それでは、施策の23「高齢者の生きがいの充実」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

高齢者が社会活動・ボランティア活動に参加できる機会を増やすため、各種計画に基づいた事業の推進に努めていただきたい。

高齢者の最大の「切なさ」は社会の断絶であるとともに、それを自ら招くなどの複雑な高齢者心理があると思われる。高齢者個々に寄り添った事業を検討いただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。

お願いします。

◎**木場委員** コメントの2番目ですけども、まさに御意見としてはそのとおりだと思うのですが、「高齢者個々に寄り添った事業を検討」していただきたいと。しかし、事業というのは、需要と供給があつての話ですね。ある程度の規模にならないければ、それは事業になり得ないと思っておりますが、この文言のままだと、私はどうすればいいのかと思って、茫然自失しているという状況でございます。

◎**渡邊会長** なるほど。事業を検討したいというよりも、取組とか、その程度の柔らかい言葉がよろしいでしょうか。

◎**木場委員** そうですね。御意見としてはこのとおりだと思います。ただ、政策となると、果たしてそういうことでできるのかなと。

シルバー人材センターでは1,000人の会員がいますが、お一人お一人との会話、彼らの個々のニーズを聞いて事業をやっているわけではない。ということは、今のシルバー人材センターは不十分だという話になりかねないので、ちょっと同意しがたいということです。

◎**渡邊会長** 高齢者個々に寄り添った事業というと、今言われたみたいに需要と供給になるから、例えば取組を検討していただきたいということで。

◎**木場委員** はい。文言を再度検討していただきたいというのが希望でございます。

◎**渡邊会長** 分かりました。事務局でどういう表現をするのか、今のところに関して、受け取っていただいてよろしいですか。

◎**富田企画政策課長** 検討させていただいて、会長と調整させていただきたいと思います。ありがとうございます。

◎**渡邊会長** この「切なさ」という言葉は私が使ったんですけど。

◎**木場委員** 分かりました。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。実践という立場から、これだと難しいということでは

ね。ありがとうございます。

それでは、施策の24「高齢者が暮らし続ける仕組みの充実」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

アンケート結果が増加していることは、多岐にわたる事業が一定の成果を上げていると評価できる。

高齢者にとって暮らしやすい地域とはどのようなものなのか把握と共有、つながり作りへの取組を期待する。

事業の進捗管理が課題であるが、計画に基づき、着実に取り組んでいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。「高齢者が暮らし続ける仕組みの充実」ということでございます。いかがでしょう。こういう表現でよろしゅうございますか。

木場委員、これでよろしいですか。

◎**木場委員** はい。

◎**高松委員** 最後の「事業の進捗管理が課題であるが」の中身がよく分からず、何が課題なのかがよく分かりませんでした。施策24の評価のシートを見ても、事業の進捗管理が課題であることの中身がいまいち分かりません。ここを富田さんに解説いただきたいと思って質問させていただきました。

黒枠については特段、違和感はないですけど、この3ポツ目の「事業の進捗管理が課題であるが」というところがよく分からなかったのです。

◎**渡邊会長** 「進捗管理が課題であるが」という言葉ですか。

◎**高松委員** そうですね。「事業の進捗管理が課題」とあるが、何が課題なのでしょう。

◎**渡邊会長** 要するに、方法なのか、進捗管理ができていないことが課題なのかということですね。

◎**高松委員** はい。

◎**渡邊会長** ここは、その進捗管理が課題の、進捗管理の内容を少し分かるような格好で書くということですね。

◎**前坂企画政策課主任** こちらは単純にほかの施策のところの文言を持ってきている可能性もあるので、その辺も含めて後ほど会長と調整させていただいて、適切な表現にしたいと思いますので、よろしくをお願いします。

◎**高松委員** はい。

◎**渡邊会長** はい。よろしく。

◎**富田企画政策課長** 調査結果を見ると、何かA、Bと、計画どおり進んでいると書いてあるので。

◎**前坂企画政策課主任** そうですね。何かちょっとそぐわない感じもするので、確認します。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。ほかにございますか。確かにそういうところがありま

すね。

25番目、「障がい者福祉の充実」に移りたいと思います。お願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

新型コロナウイルス感染症の影響により進まなかった事業や施策全体の課題解消に向け、事業の見直しや関係団体等との連携強化に努めていただきたい。

指標結果は低かったものの、啓発事業等の実施については、継続して行っていくことが重要である。

以上です。

◎渡邊会長 「障がい者福祉の充実」について、いかがでしょう。

◎高松委員 先ほども似たような指摘があったかと思うんですけど、このアンケートの評価、障がい者の方の評価なのかが知りたくて、正直、私にこのアンケート、「障がい者にとって暮らしやすいですか、小金井市は」と聞かれても、正直、適当に答えてしまいますので、先ほど子育てしている母親はどちらかといえば肯定的、全体でまぶすと、ネガティブな御意見も一部あるかと思います。この指標についても、障がい者という方のフィードバックで判断しないと、意味がないのではないかという懸念があります。どうなのかなと思って、質問をしています。

◎渡邊会長 これは参考資料のほうに反映してもらおうなど、次年度以降、アンケートを取るときの設計の指針にしてもらおうということによろしいですか。

◎高松委員 はい。

◎渡邊会長 よろしいですか、そういうことで。

◎前坂企画政策課主任 先ほども説明したとおりになるのですが、18歳以上、2,000人という方の対象で今やるということを前提に、一応この指標のアンケート内容も、その当時検討していただいた結果にはなっています。今いただいている御意見、当時同じような御意見はたくさん出ていたので、その中で作った指標ということになっていますので、また今後の課題として整理させていただければと思いますので、よろしくをお願いします。

◎渡邊会長 高松委員、それでよろしいですか。

◎高松委員 はい。

◎渡邊会長 ありがとうございます。ほかにございますか。

それでは、施策の26番「健康の維持・増進」に参ります。お願いします。

◎萬羽会長職務代理者 コメントです。

コロナ禍による生活様式の変容が生活習慣を見直すきっかけになった一方で、健診等の受診率が減少していることが課題となっているため、定期的に健診等を受診することの重要性を周知・啓発するとともに、受診しやすい仕組みを検討していただきたい。

以上です。

◎渡邊会長 いかがでしょう。よろしいですか。

それでは、あと3つですけども、「市民参加・協働の推進」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

会議やイベントのオンライン開催が一般的に浸透してきたことを市民参加・協働の推進の機会と捉え、新たな手法を検討していただきたい。また、町会・自治会加入促進の市報1面掲載に反響があったことから、様々なツールを効果的に活用できるよう、取組を積極的に行っていたいただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。いかがでしょうか。これはなかなかいいコメントがあった。よろしゅうございますか。

それでは、最後のページですが、施策28ということで、「積極的な情報発信」ということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

SNS等の活用、公式アカウントのフォロワー数の増加等、事業が一定の成果を上げていることは評価できる。効果的に小金井市の魅力を発信する手法も検討しつつ、シティープロモーションの推進を図っていただきたい。

高度情報化社会が到来し、市民レベルのデジタルリテラシーが非常に高い。発信情報の内容の品質はもとより、表現法も重要であり、市内の大学や専門学校の協力を得て、表現法をブラッシュアップする取組を期待する。

以上です。

◎**渡邊会長** いかがでしょうか。よろしゅうございますか。

あつという間に最後までできましたけど、最後まで参りましょう。施策29の「計画的な行財政運営」についてということで、お願いします。

◎**萬羽会長職務代理者** コメントです。

第5次基本構想・前期基本計画をはじめ、行財政運営に関する重要な計画の策定や見直しが進んだことは評価できる。今後は、計画を基に具体的な取組を進めるとともに、適切な進捗管理や評価を行い、目標達成に努めていただきたい。

計画は大枠であり、様々なタイムリーな事象にも弾力的に対応できるようにしていただきたい。

以上です。

◎**渡邊会長** 「計画的な行財政運営」ということで、皆さんの評価と御意見というのか、希望というのですか、こんな感じでまとめたという形で、いかがでしょうか。

私の予定では、あと30分かけてやろうかと思ったのですけれども、大分効率よくいったので、全体的なところで御発言があれば、お願いしたいと思います。

天野さん、お願いいたします。

◎**天野委員** 全部見て、施策全てをこのように進めていくのはすごく大変だなと思って見ました。小金井市としてこの施策は重点的にやっていきたいみたいな、優先順位みたいなのが

あるのかなと思って、子育て支援を重点的にやっていきたいとか、そういうのはどこを見たら分かるものなのかを教えていただきたい。

◎富田企画政策課長 小金井市として施策の優先順位をどう考えているかというご質問で、ありがとうございます。

どの部分だけがというところを、市としてはなかなか言えない部分もありまして、市民の方の、行政用語的には住民福祉の向上とあって、住んでいる方皆さんの福祉、幸福を追求するところが行政としての責務になりますので、そういった意味では、この計画に網羅していること全てが重要だという認識にはなります。

近年、子育て分野に関しては、国の施策としても重点項目として挙げられていますので、小金井のみならず、どの施策も非常に進んでいっているので、今後もしばらく加速していくのではないかなという印象を持って取り組んでいます。

◎渡邊会長 よろしいでしょうか。

◎天野委員 はい。

◎渡邊会長 限られた財政の中なので、どこかで何かということがどうしても必要になると思います。施策29の最後にある、タイムリーな事象に弾力的に対応していくということで、その時代、そのときそのときの重点分野というものが考えられていくのかなと、僕自身は個人的に思う次第です。

榎山さん、全体的に何かありますか。

◎榎山委員 今考えていたのは、施策28の「積極的な情報発信」のところで、ツイッターとかSNSとか、デジタル面での情報発信に重点が置かれているのかと思います。高齢者の方々だと、そういうのには恐らく触れる機会は少ないのかと。この意見のところに、ツイッターが定着しても肝心の市報やホームページはという意見とかもあったりして、ツイッターとかSNSで情報を仕入れられる人はどんなところからでも、市報でもホームページでも、ホームページが見にくくても、自分から探していけるとと思います。逆にそういうのを使えない人たちのほうにも重点を置いたほうがいいのかと。日頃そういう慣れている人は、私もすごく情報を見に行くのが好きなので、見に行くのですが、そっちを重点にするのはどうかな。重点にしなくても私たちは大丈夫だけだかなと思ってしまうので、それより、使えない人たちが情報を取れるようなところにしたほうがいいのかと。

◎渡邊会長 この件については、長期計画審議会でも議論されて、小金井市として高齢者の方に対するデジタル教育に力を入れたらどうだろうかと、そういう考え方が入っているかと思います。

◎榎山委員 なるほど。分かりました。ありがとうございます。

◎渡邊会長 どうもありがとうございます。まさにそのとおりだと思っています。高齢者ほどスマホで何でもできるようになったほうがいいですね。

◎榎山委員 そっち方面ですね。

◎渡邊会長 はい。

高松さん、何かありますか。

◎高松委員 この29の施策の中で、私としてフォーカスをしたところについてコメントをさせていただくと、施策の1ですが、この「稼ぐこと」に期待したいという、まさにこの言葉は私の意見を反映していただいているのですが、小金井公園や野川公園とか、自然に引かれて私も転入してきた1人です。何かそれをもっともっと、確かにフリーマーケットとか、いろいろイベントもやられてはいるのですが、参考資料にもキャンプをやったらどうだと、書いたのは私なのですが、より公園に来て、にぎわいがある、もちろん環境を破壊しては駄目ですが、そこへもう少し稼ぐみたいなのが要望というか、希望なのですが。担当課の方と話してみたいなと思いました。私の希望をお伝えさせていただきましたというのが1つです。

もう1つが、これは全般に言えることで、途中でも出てきましたが、アンケートの取り方というか、評価、目標の立て方が低過ぎないかだとか、対象としている分母が、筋が悪いとか、そうすると結局、この活動の幹となっている目標そのものがずれているということになるので、そこは厳格にもう一度見直したほうがいいのではないかなとは思いました。

子育てしやすいまちと感じる人の割合が50%。50%は逆に満足してなくていいのみみたいなこともやっぱりあって、そこは確かに、今は30%だったからというので、そこから始まっているから、分からなくもないのですが、もったいないなと思ったので、施策全般について、その指標の立て方やアンケートの取り方、先ほどデータのこともおっしゃっていましたが、そこはよくよくやらないと。限りある市民と市役所のリソースがもったいない感じも若干あり、ぜひ見直していただきたいと思います。

私からは以上です。

◎渡邊会長 参考資料にそういうことが詳しく出ていました。ありがとうございます。

須藤さん、お願いします。

◎須藤委員 コメントとしてはこちらでいいと思います。

全体的に、コロナの影響で駄目だったとか、コロナ禍でもそれなりの成果が出たとかいう評価が多いですけど、今後、コロナだけではなく、いろんなことが起こり得るので、そういった見えない中で、何が起こってもできるような対策みたいなのを全体的に入れてもいいのかなと感じていました。

施策8のコメントですが、一番下の文章が分かりづらかったのが、一番下の行で「広報し実情を正確に知ってもらおう」という部分ですけども、何を広報したら実情を正確に知ってもらえるのか。上の文章、その前の文章との関連が分かりづらかったので、分かりやすく表現したほうがいいのかなと思いました。

◎渡邊会長 施策のどこでしたっけ。

◎須藤委員 「まち全体で災害などへの備えができていると感じる市民の割合と実情は乖離があるかもしれない」と「広報し実情を正確に知ってもらい、備えの効果的な活用に役立ててほ

しい」というところ。この乖離を埋めるための何かを広報するという意味なのか、ただ、その後には「備えの効果的な活用」という行が来ているので、ちょっと分かりづらいのかなと。

◎渡邊会長 なるほど。

◎富田企画政策課長 事務局としては、この「広報し」の部分は、市の災害対策とか、例えば備蓄の状況であるとかいったものをより周知することによって、自助の部分、御自宅でできる備えの部分の理解に活用するということの広報を言われているのかなというふうなイメージで受け止めていました。

その前の部分とのつながりの部分、言葉をちょっと補足したほうがいいのかとか、検討させていただいて、追加か削除か、対応したいと思います。

ありがとうございます。

◎渡邊会長 では、福平さん。

◎福平委員 コメントについては特にはないのですが、いろんな意見の中で、アンケートの取り方というのか、今後のやっていく施策をより市民の意見というか、評価を精査するためにも、やはりアンケートの取り方については検討していく必要があるかなと思っています。

◎渡邊会長 そうですね。アンケートの取り方自身から、少しきちんとやるということが必要だと。効果的なアンケートを取るということ。

◎高松委員 4月にまたアンケートをやるのですか。

◎前坂企画政策課主任 そうです。4月にやります。

◎高松委員 来月やるのですよね。

◎前坂企画政策課主任 来月やります。

◎渡邊会長 4月に、来年度ですね。

◎高松委員 同じものを。

◎前坂企画政策課主任 そうです。これはスタートしたときにこの指標を設定しているので、基本的に5年間はこの指標でアンケートを取って、進捗を見ていく形になります。

◎高松委員 なるほど。アンケートそのものは変わらずに、その料理の仕方をこの審議会で工夫していくという、そういう形になるのですかね。

◎前坂企画政策課主任 そうですね。

◎渡邊会長 よろしいですか。

◎高松委員 はい。

◎渡邊会長 井寺さん、お願いします。

◎井寺委員 アンケートのやり方が、初めての参加でしたので気になります。例えば、数字が2,000としたら、効果的である数字というのを証明していただいて、件数だけでも増やすとか、その分母に対してこれだけの数を取れば、いろいろな分野においての人数の偏りがあつたとしても整合性が取れるのだと。核心の部分を表示していただければ、ここに戻ってくる情報がとても、皆さんが納得できる数字だと受け取りやすいと思います。そこを御示しいただけれ

ば、ぐんこのレベルが上がると思います。そこはやはり市民としても知りたい部分だなというのが、すごくお話を聞いてうかがえました。

農業委員として参加させていただいているのですが、施策11のところを読んで、こちらの参考資料でやはり現場の危機感と、一般消費者や市民の方の意識の向上という2本の柱は、何の分野にしても、かなり隔離されていると感じます。そこをすり合わせていくための議論の場や情報収集が本当に必要だなというのを感じました。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

浅野先生、何かあれば。

◎浅野委員 表記の問題を2つと、それから中身の問題を1つお話しさせていただきたい。

まず、表記の問題ですが、施策28、これは後で直していただけたらと思うのですが、施策28のコメント欄の「デジタルリテラシー」は「リテラシー」、施策29の最後の、「様々なタイムリーな事象にも」と書いてあるのですが、そういう書き方もあるかなとは思いつつ、意味を酌んでみると、つまり、予想もしていなかったことが起きても弾力的に対応できるようにしたいという、そういうことだろうと思います。何より「タイムリー」というのは、好都合なことが好都合なときに起きてくれるという「タイムリー」、タイムリーヒットはタイムリーですよ。だから、ここは偶発的なとか、突発的なとか、予期せぬとか、そういった中立的な言葉にしたほうが、本来の意味をよく伝えることができるような気がいたしました。

以上が細かいところ2点です。

中身の話ですが、施策22の「福祉のまちづくりの推進」で、意見のところ、最後の「指標1の目標達成に向けた新たな対策が必要ではないか」と御指摘いただいている委員の方がいました。それは私も全く同じことを感じました。指標1というのは何かというと、「困ったときに地域で助け合える関係性を持っている市民の割合」なのです。目標は80%なのですが、当初46.1%で、これが令和3年度実績で42.7%に下がっています。コロナの影響ということももちろんあるとは思いますが、目標値に比べて低いということもありますし、それ以上に、言わば孤立化というか無縁化が進んでいるというふうにも見えますので、政策課題としてはかなり重要なところではないかなと感じました。

コメントはこのままだもちろん異存はないですけども、来年度以降、注意して見守ったほうが良いような気がいたします。

以上です。

◎渡邊会長 確かに用語の使い方というのは、もう少し検討したほうが良いかもしれないですね。ありがとうございます。

鈴木委員、何かございますか。

◎鈴木委員 基本的にコメントのところは、内容も理解できたというところがあります。施策13番の「子育て家庭の支援」のところの、黒ポツ2つ目の下から2番目、物価上昇の影響による保護者の経済的負担を軽減する、「保護者」という言葉が急に出てきたところがあって、

細かいことなので、もしよければ検討していただいて、子育て世帯とか、子育て家庭の経済負担をとか、もしくはここは保護者を取ってしまうか、ちょっと考えていただいたほうがいいかなと思えました。同じような意味かと思えますので。

施策16番で、「学校環境の整備」というところの黒ポツ2つ目、老朽化対策を進めるとともに「ICT機器の使用を促進していただきたい」という、確かにICT機器の使用を促進することによって学習活動のさらなる充実があると思うのですが、一言加えたほうがいいのかなと思って、ICT機器の使用を促進していただきたいと言われたときに、促進すればいいのか、もう少しその機器の使用を促進することによって起こる内容を記載したほうが分かりやすいかなというところがあります。こっちのほうの60ページに、新しい学習環境の環境整備・活用というところで、こうした取組、ICTを活用していくことで遠隔授業、協働学習、個別最適化学習を可能とし、学習活動のさらなる充実を図りますとなっているので、むしろコメントのところに「ICTの機器の使用により、学習活動のさらなる充実を促進していただきたい」とか言われたほうが、このコメントを読んだ方が分かりやすいのかなと感じましたので、ここは検討していただければと思います。

あと、施策28番の「積極的な情報発信」の黒ポツ2つ目のところで、「発信情報の内容の品質はもとより、表現法も重要であり、市内の大学や専門学校の協力を得て、表現法をブラッシュアップする取組を期待する」というところの、「表現法」というところが、いわゆるデザイン的なところであったり、目につきやすいとか、下のほうの意見とかでも、市報とかホームページが早急にてこ入れすべきだと思うというふうに書いてあるのですが、表現法というのは、どういう理解で表現法というふうに記載されているのか。

◎渡邊会長 僕が書いた意見だから、要するに、内容は重要だと思うのですが、見やすいとか、分かりやすいということを言いたかったのです。そういうことを受けて直してもらえたらいいかと思えます。要するに、高齢者のことも考えると少し文字を大きくしてもらおうとか、そういうことも含めた感じですか。あと、デザイン性ももちろん重要だと思います。

今、言われた点、もっともだと思いますので、事務のほうで遠慮なく直していただきたいと思えます。

◎鈴木委員 大変失礼しました。私からは以上です。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

小早川さん、何かございましたらお願いします。

◎小早川委員 私は特にコメントは大丈夫なのですが、22番の福祉のところは、地域づくりを推進しているのは、かなり社会福祉協議会が、重要な計画の中に入っていますから、社会福祉協議会でもうここは頑張らなければいけないなという個人的な感想を持ちました。

これは、災害とかいろんなことが絡めないとなかなか、一概にこれを進めるとするのは、困ったときに助けるというのはすごく難しい課題ではあるのですが、本当にこのいただいた意見を見て、今後は頑張らなければいけないなと大変思った次第でございます。

◎渡邊会長 ありがとうございます。

木場さんお願いします。

◎木場委員 私が類推するに、参考資料の7ページの一番上、シルバー人材センター補助事業について、会員が減少している原因を分析した上で具体的な対策を検討していただきたいという文言を、もうちょっと柔らかく普遍的・抽象的に書いた結果かなと思っていますが、シルバー人材センターは、47年の歴史があります。その中で、常に地域の高齢者の就業を通じた福祉ということを考えておるわけですが、日本全国でシルバー事業、各単位の会員が減少傾向にあります。その最大の原因は、65歳までの定年延長、それから70歳までのいわゆる雇用維持努力というか、義務というところが一番大きい。

ちなみに申し上げますと、今年度は140名ぐらいの会員が新たに入会しましたが、その平均年齢は、男性が71.2歳です。女性は68.4歳です。この70歳までの雇用維持義務、これはシルバーについては、70歳を過ぎないとなかなか入会してくれないというのがあります。一方で、意見欄に書いてございますけども、一応業績は上向きになりつつあります。一生懸命努力しても、会員の方々のニーズが非常に多様化してしまっていて、それを一つ一つ、仮にこれがよかろうと、例えば内職の仕事と思っても、会員がある程度のスケールにならないと、やはり事業としては成り立たないのです。その辺のジレンマで、必死になって努力はしていますが、もうちょっと個々の意見を聞いて事業化を図りなさいと言われると、「私、どうしたらいいのかな」というのが正直なところですよ。

◎渡邊会長 分かりました。貴重な意見だったと思います。

一回り皆さんの御意見を伺いましたけれども、この議題1について、一応全体にやって、個々に最後、意見をいただいたと。あるものは参考資料に入るかもしれないし、あるいはこの答申書の意見書をちょっと直すとかいうことになると思います。事務局でまとめさせていただいて、時間がないものですから、私たちが精査させていただくということにしたいと思いますが、それでよろしゅうございますか。

ありがとうございました。

それでは、第1議題というのを、非常に皆さんの協力でうまくいきました。ありがとうございます。

これで、令和4年度の施策評価の議題は終わりにしたいと思います。

事務局で、後をお願いいたします。

◎富田企画政策課長 ありがとうございます。本日皆様からいただいた御意見の中で、必要な箇所などを会長と事務局で調整をさせていただきまして、先ほど会長からもありましたとおり、最終的には一任させていただくということでお願いしたいと思います。

完成してまとめ上がったものにつきましては、また皆様のほうにお送りさせていただきたいと思っています。

事務局からは以上となります。

◎**渡邊会長** ありがとうございます。今、最終的に事務局から報告があったように、皆さんの御意見を受けて作っていただいて、我々で精査させていただくということを取りたいと思います。それでよろしゅうございますね。異議がございますか。

(「異議なし」の声あり)

◎**渡邊会長** ありがとうございます。

それでは、今日用意していただいた第2番目の議題、その他に移りたいと思います。

事務局で、その他についてお願いします。

◎**富田企画政策課長** 来年度の日程についてでございます。

令和5年度は、会議を3回予定してございます。時期といたしましては、6月から8月の間におおよそ月1回で、3回程度開催することを検討しています。

日程調整につきましては、後日メールで事務局から依頼させていただきますので、御協力いただきますようによろしくお願いいたします。

以上です。

◎**渡邊会長** ということで、次年度は3回ということで、日程については、また事務局から皆さんのところにお伺いを立てて、できるだけたくさんの方が出席できる日時で行っていただきたいと思います。

今日用意していただいた議題1と2ということでございます。つつがなく、予定時刻よりちょっと早いですが、終わりにしたいと思います。職務代理は朗読ありがとうございました。皆さんの御協力にてうまく議論ができたと思います。

それでは、令和4年度の第2回長期計画審議会、これをもって終了といたしたいと思います。ありがとうございました。

(午後3時25分閉会)